

# 令和5年度 「生徒による鎌学トライアルテスト」 試験問題

## 社 会

(時間 15 分)

### [注意事項]

1. 試験開始の合図まで中を開いてはいけません。
  2. 受験番号、氏名を解答用紙に記入しなさい。
  3. 試験問題は1題あります。問題がぬけていたり、  
印刷がはっきりしない場合は申し出なさい。
  4. 解答は解答用紙に記入しなさい。
  5. 解答用紙、問題用紙はどちらも回収しません。
- ★. この問題は2023年12月10日実施の「生徒による鎌学トライアルテスト」用に、  
生徒広報の生徒が鎌倉学園中学校の入試問題の形式を踏襲して作成した模擬問題  
です。試験問題の内容は入試本番の試験問題の内容とは一切関係ありません。

1

2023 年は関東大震災発生から 100 年となる節目の年でした。関東大震災に関する会話を読んで、次の問いに答えなさい。

のぞみ 「関東大震災が発生したのは大正時代だね。当時の生活の様子や教訓について考えてみようよ。」

ひかり 「大正時代といえば、①民衆が自由と民主主義を求めてさまざまな活動を起こしていたよね。」

のぞみ 「さまざまな人々が自由や民主を手に入れたけど、その一方で、②第一次世界大戦が起きた時代でもあったよね。現在の日本では ③日本国憲法の第九条で戦争の放棄について定められているよ。」

ひかり 「日本は第一次世界大戦の時に ④貿易をたくさんしたから景気が良くなったと言われているね。」

のぞみ 「それはそうと関東大震災の他にも日本ではさまざまな大地震が発生してさまざまな被害がもたらされているよね。例えば ⑤東日本大震災では大津波が発生したよね。」

ひかり 「そうだね。津波が発生した地域の周辺には、今も ⑥福島県を中心に帰宅困難区域が設定されているよね。これは ⑦発電所で発生した事故によるものだね。」

のぞみ 「うん。最近 ⑧その発電所で貯められていた処理水の海への放出もあったよね。」

のぞみ 「災害といえば最近、異常気象といわれる ⑨天候の変化が観測されているよね。」

ひかり 「地震などの災害によって、大きな被害などに発展することもあることがわかったね。私たちはこれから ⑩様々な災害に備える必要がありそうだね。」

問1 下線部①について、あとの問いに答えなさい。

- (1) 大正時代における下線部①のような風潮を何といいますか。8文字で答えなさい。
- (2) 以下の選択肢ア～エのうち誤っているものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 身分制度が廃止された後も差別に苦しんでいた人々が、差別問題を解決する全国水平社を設立した。

イ 普通選挙法が制定され、納税額に関係なく、満 25 歳以上の男女が選挙権を獲得した。

ウ 原敬が首相になり、初の本格的な政党内閣が誕生した。

エ 各地で労働条件などの改善を求める労働争議が起こった。

問2 下線部②について、この戦争中に日本が中華民国に対して行った要求のことを何というか答えなさい。

問3 下線部③について、次の文章の空欄 X・Y に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを以下の選択肢ア～エのなかから一つ選び記号で答えなさい。

日本国憲法第九条

第1項 日本国民は  を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

第2項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の  は、これを認めない。

	X	Y
ア	正義と秩序	交戦権
イ	平和と安全	交戦権
ウ	正義と秩序	戦争権
エ	平和と安全	戦争権

問4 下線部④について、自由貿易を進めることを目的として作られた国際的な貿易機関のことを何といいますか。アルファベット3文字で答えなさい。

問5 下線部⑤について、あとの問いに答えなさい。

(1) 以下の選択肢ア～ウのうち正しいものをすべて選び記号で答えなさい。

ア 日本は4枚のプレートの境目に位置しており、地震が非常に起きやすい。

イ 東日本大震災ではV字谷が沈んでできたリアス海岸の影響で、津波の高さがさらに高くなった。

ウ 地元の言葉で他の人を気にせず自分一人でも急いで逃げなさいという「津波てんでんこ」という言葉がある。

(2) 大きな津波の被害が出た三陸海岸は漁業が盛んな地域でもあります。この地域で漁業が盛んな理由について述べた次の X・Y の正誤の組み合わせとして、正しいものを以下の選択肢ア～エのなかから一つ選び記号で答えなさい。

X 三陸海岸の沖合には暖流の対馬海流と、寒流の千島海流がぶつかる潮目があり、餌となるプランクトンが豊富であるから。

Y 三陸海岸はリアス海岸のため、波が穏やかで、魚にとって過ごしやすい環境だから。

	ア	イ	ウ	エ
X	正	正	誤	誤
Y	正	誤	正	誤

問6 下線部⑥に関して、次の写真ア～エは日本各地の城の画像である。ア～エのうち福島県のもを一つ選び記号で答えなさい。



ア 会津若松城



イ 姫路城



ウ 松江城



エ 備中松山城

問7 下線部⑦に関して、近年、再生可能エネルギーによる発電が注目されています。再生可能エネルギーによる発電について以下の選択肢ア～エのうち正しいものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 水が上から下に落ちる力を利用して発電を行う水力発電所は、建設にかかる費用が安いいため日本の山地にも多く存在する。

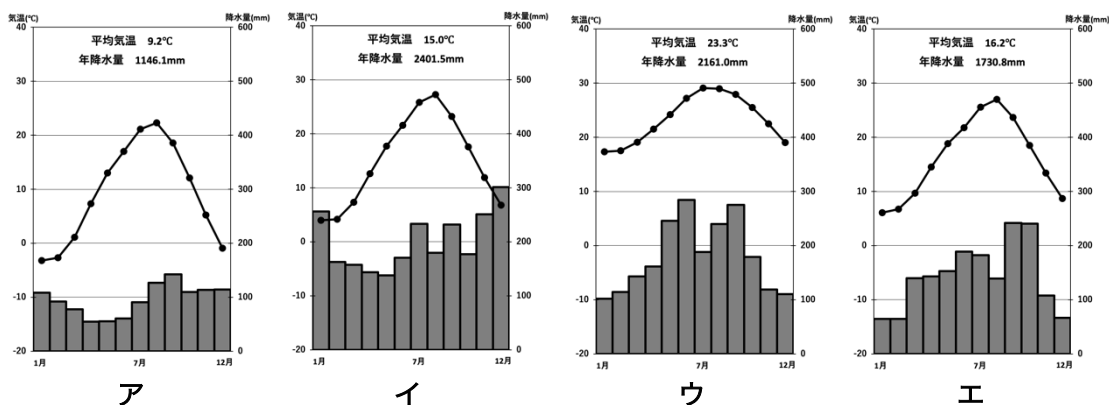
イ 再生可能エネルギーは、環境問題を促進させないだけでなく、経済的な影響や天候に発電量が左右されないため、電力の安定供給に貢献している。

ウ 地球内部の熱を使用する地熱発電は、温泉の多い日本に非常に適した発電方法であり、国内では九州地方の温泉地に発電所が多く設置されている。

エ 原子力発電は、安全のための対策をすることで再生可能エネルギーを使用した効率の良い発電になると近年期待されている。

問8 下線部⑧について、この処理水は通称何と呼ばれていますか。解答らんにあわせてカタカナ四文字で答えなさい。

問9 下線部⑨について、以下の雨温図は日本の各都市のものです。札幌と金沢にあてはまる図として最も適当なものを以下の選択肢ア～エのなかからそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。



気象庁の資料より作成。

問10 下線部⑩について、全国の海岸沿いに写真のような森林がみられます。これらは何のために作られているか答えなさい。







